

岐阜市議会常任委員会行政視察報告

市議会では、市政の発展に向けた施策などを行政に提言したり、反映させるため、先進的な事例や取り組みを行っている都市に出向いて直接、調査・研究する「行政視察」を委員会ごとに行っています。今年度は10月11日に総務、産業、厚生、建設、文教の全常任委員会が行政視察を実施しましたので、その概要をお知らせします。 ④ 議事調査課 ☎246237

総務委員会

① 岡山県倉敷市(10月7日) ② フアシリティマネジメントについて
厳しい財政状況や人口減少が見込まれる中、老朽化が進む公共施設を維持し市民サービスにつなげていくために、施設の長寿命化とコスト削減を進める仕組みの構築が必要であるとのことでした。具体的には、施設の維持修繕を専門とする課を新設し、公共施設データ及び維持管理業務の一元化、職員への意識改革及び各種研修などさまざまな角度から取り組んでいました。本市でも公共施設の老朽化については十分に検討していかなければならぬ課題であり、施設の長寿命化や維持管理費用の削減に対する長期的な視点に立つた数多くの取り組みは、参考になるものでした。



▲倉敷市視察

② 大分県大分市(10月8日) ② 大分市シティプロモーションについて
市民が我がまちに対する誇りと愛着を持ち、地域コミュニティや地域産業の活性化につながることを目指し取り組んだ本事業は、歴史上ゆかりのある人物を活用したプロモーションや、若年層をターゲットとしたCMやWEBドラマといった映像による魅力情報の発信など、さまざまな試みにチャレンジしています。その効果の検証が今後の課題であるとのことでした。本市では、信長公を活用す

るなど都市ブランドイメージの発信に努めています。今後は、さらなる地域資源を掘り起し磨き上げるなど、魅力ある都市づくりに取り組みむことによりイメージの向上を図ることで、交流人口や定住人口の増加につながるのではないかと感じました。

産業委員会

① 山口県山口市(10月20日) ② 山口市観光交流基本計画について
観光に伴う消費活動は関連産業にさまざまな波及効果をもたらす、経済の活性化と雇用の創出に寄与するものです。観光交流基本計画は、緻密かつ適正な現状分析を行い、課題を把握することから始まり、基本理念を掲げ、具体的な数値目標、取り組み方を明文化し、進捗状況を各年度ごとに確認していきました。本市においても岐阜城や鶴飼など数々のすばらしい観光資源を有していますが、それぞれの強み、弱みを的確に把握し、他都市に向けて魅力的な情報を発信することは喫緊の課題であり、参考になるものでした。

② 広島県呉市(10月21日) ② 農業再生事業について
近年、高齢化に伴う農業の担い手不足は全国的な課題であり、農家に対する支援のみならず、食料加工業者や地域団体と連携した6次産業化にも目を配りながら、遊休農地の再生や農地保全などの農業振興を進めるこ



▲呉市視察

とが大切であると感じました。大和ミュージアムを活用した観光施策について、日本の歴史と平和の大切さを認識し、科学技術のすばらしさを理解してもらうために、長い年月をかけて資料収集に努められていました。ボランティアスタッフの活用等も含め、素晴らしい施設管理が行われており、運営面においても参考となる施設でした。

③ 兵庫県姫路市(10月22日) ② 姫路駅駅前広場の整備と商業振興について
姫路城を活用した観光施策について、駅出口からのシンボルである姫路城が望める景観を形成し、駅前の道路は一般車両を進入禁止にする思い切った発想で、人を優先したまちづくりに転換したことで、商店街へのアクセスがスムーズに行われ、回遊性が高いにぎわいある街を創出していました。柳ヶ瀬においては、空き店舗数の増加問題が顕著ですが、市民が訪れたいくなるような魅力ある商店街を官民連携して構築していく上で、見習うべき点がいくつかありました。

① 新潟県新潟市(11月5日) ② スマートウエルネスシティについて
「健康都市」の実現に向け、まちづくりと健康づくりの両面からアプローチしています。まちづくりでは条例を制定し、自動昇降式車止め「ライジングポラード」による歩行者空間の確保、自転車通行帯の整備等を行い、健康づくりにおいては、個別に運動プログラムを作成、実施するいきいき健康づくり支援事業、遊歩道への健康遊具設置など、さまざまな施策を展開しており、事業の推進に当たっては

厚生委員会

各部局の密接な連携が不可欠であると感じました。
② 新潟県佐渡市(11月6日) ② 福祉版コンパクトシティモデル事業について
少子高齢化が進む中、地域の自助、共助、互助の体制を再構築する目的で、救命対応に必要な情報を収めた救急医療情報キットの導入やワークシヨップ等のモデル事業を実施することにより、住民に助け合いの機運が芽生えたところであり、住民の意識啓発を促す取り組みが大切であると感じました。



▲佐渡市視察

② 山形県山形市(10月3日) ② やまがた中心市街地ルネサンス構想について
やまがた中心市街地ルネサンス構想は、平成35年度を想定した中心市街地における中長期的なまちづくりの将来都市像を示すものであり、山形市の街の特色及び機能の面から、山形の玄関口であるゾーン、歴史、文化を中心とするゾーン及び観光、商業を中心とするゾーンの3つに区分し、各ゾーンの特色にあつた取り組みを行っていることが印象的でした。また、商業ゾーン内の景観的に特徴のある施設として、水の町屋七日町御殿堰(石積み水路と小売店等の複合施設)を視察しました。

① 岩手県盛岡市(10月2日) ② 盛岡市中心市街地活性化基本計画について
平成25年に認定を受けた第2期中心市街地活性化基本計画について説明を受けました。第2期計画では、第1期計画の総括から、中心市街地の回遊性向上のためのソフト事業の充実が必要とのこと、商店街組織強化支援事業等を重点的に実施されていました。ま

建設委員会

た、昨年、盛岡市街の宿泊観光客数は、想定を上回る数値となりましたが、引き続き高い水準が維持できるよう、盛岡おもてなし度UP事業の実施により、リピーターの確保などによる観光客の誘致促進に取り組んでいきたいとのことでした。本市でも柳ヶ瀬のまちの魅力向上、柳ヶ瀬と岐阜駅周辺、岐大跡地周辺との回遊性の向上にぎわい創出の主要施策であり、盛岡市の事例は類似点が多く参考になりました。

② 山形市水町の町屋七日町御殿堰視察
山形市の街の特色及び機能の面から、山形の玄関口であるゾーン、歴史、文化を中心とするゾーン及び観光、商業を中心とするゾーンの3つに区分し、各ゾーン

① 山口県下関市(10月28日) ② せき市民活動センターについて
この施設は、平成15年に下関市市民協働参画条例が制定されたことを受け、市民活動の場の確保、市民活動組織の育成支援、情報の提供を目的として、平成19年に開設されました。現在、250を超える団体がセンターに登録しており、登録団体には、施設使用料の減免や

文教委員会

助成金制度の情報提供などの支援を行っています。また、施設の利用実績は開館初年度に比べ、昨年度は約3倍になるなど、市民活動の拠点として機能し始めているとのことであり、市民活動を推進していく上でこのような施設の重要性を感じました。

② 佐賀県伊万里市(10月29日) ② 伊万里市民図書館について
万里市民図書館は、「伊万里市民図書館を育てることを目的とする」図書館フレンドズいまり」がその運営を随所で支えるなど、市民による支援が活発に行われていました。今後も市民との協働関係を継続させていくため、指定管理者制度を導入しないとのことでした。次に、平成25年に指定管理者制度を導入した武雄市図書館は、「市民の生活をより豊かにする図書館」をコンセプトにカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社(CCC)を指定管理者に指定しています。CCCは目的外使用の許可を得て全国展開のコーヒーチェーン店を含む書店を設置するほか、図書館の休館日を廃止し、開館時間を延長しており、その結果、コストの削減のみならず、利用者の大幅増が見られたとのことでした。二つの図書館の運営手法は大きく異なるものの、それぞれにより面があり、今後の図書館運営を検討する上で、参考とすべき点が多いと感じました。

③ 佐賀県武雄市(10月30日) ② 武雄市図書館について
来年度に岐阜市立中央図書館が開館予定であるため、運営手法の異なる両図書館の視察を実施しました。まず、市直営の伊万里市民図書館は、「伊万里をつくり・市民とともにぞだつ」市民の図書館を目標とし、伊万里市民図書館を育てることを目的とする「図書館フレンドズいまり」がその運営を随所で支えるなど、市民による支援が活発に行われていました。今後も市民との協働関係を継続させていくため、指定管理者制度を導入しないとのことでした。次に、平成25年に指定管理者制度を導入した武雄市図書館は、「市民の生活をより豊かにする図書館」をコンセプトにカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社(CCC)を指定管理者に指定しています。CCCは目的外使用の許可を得て全国展開のコーヒーチェーン店を含む書店を設置するほか、図書館の休館日を廃止し、開館時間を延長しており、その結果、コストの削減のみならず、利用者の大幅増が見られたとのことでした。二つの図書館の運営手法は大きく異なるものの、それぞれにより面があり、今後の図書館運営を検討する上で、参考とすべき点が多いと感じました。



▲伊万里市民図書館視察

助成金制度の情報提供などの支援を行っています。また、施設の利用実績は開館初年度に比べ、昨年度は約3倍になるなど、市民活動の拠点として機能し始めているとのことであり、市民活動を推進していく上でこのような施設の重要性を感じました。